

生ごみリサイクル

空き箱コンポスト
に挑戦!!

太宰府市の家庭におけるもえるごみの内、生ごみが占める割合は約4割です。これをリサイクルし、堆肥化すれば、ごみの焼却量を減らし環境負荷を軽減することにつながります。自然生態系の循環に沿った、環境にとってもやさしい、生ごみの堆肥化にご家庭で取り組んでみてはいかがでしょうか。

空き箱コンポストの作り方

①準備する物

- ・ 段ボール箱（中古で防水加工のないもの）
- ・ 基 材（竹粉末ともみ殻くん炭を混ぜたもの）
（ピートモスともみ殻くん炭を混ぜたもの）
- ・ 通気用台座（ビールケースや園芸ポットケース）
- ・ その他（クラフトテープ・スコップ・ゴムひも・木べら・古布など）

②容器の作り方

- ・ 虫の侵入を防ぐため、継ぎ目や穴をクラフトテープでふさぎます。
- ・ 段ボールの内底に段ボールや新聞紙を敷いて補強します。

③ふたの作り方

- ・ 段ボールを閉めた状態の上に、新聞紙（2～3枚）をかぶせ、その上から古布で覆います。（虫予防）
- ・ 新聞紙や古布が飛ばないように、ゴムひもで止めます。

④設置の仕方

- ・ 通気用台座の上にコンポスト容器を設置します。
- ・ 設置場所は、できるだけ雨に濡れない所や日当たりの良い所がよいです。



空き箱コンポスト開始

①段ボールに基材を入れます。

②生ごみを入れて、混ぜます。

- ・ 基本的に生ごみはなんでもOK。
トウモロコシの皮など繊維質の多い物は分解しにくいので、細かく切るとよいでしょう。貝殻や鳥の骨は残るので、入れる前か最後に取り除きます。
台所洗剤が付いている時や塩分が強いものは、水で流して入れましょう。
- ・ 1日に1kgまで入れることができます。

③ときどきは、隅々までしっかり混ぜましょう。

- ・ 段ボールを破らないように気をつけて混ぜましょう。
- ・ 週に1回程度は、油や米のとぎ汁などを入れて、温度を上げるとよいです。（虫予防）

④いよいよ熟成

- ・ 毎日コンポストに生ごみを入れ続け、生ごみの分解が遅くなり混ぜても臭いが消えない時は、生ごみ投入を終了します。（2か月前後が目安ですが投入量によって違います。）
- ・ 1ヵ月間そのまま寝かせます。
- ・ その間、水だけ1週間に1回500ccくらい入れて混ぜます。
- ・ 熟成中は、段ボールに生ごみを投入できないのもうひとつ空き箱コンポストを作りましょう。

⑤できあがり

- ・ できた堆肥は、プランター、畑、花壇などに土：堆肥＝2：1くらいの割合で使ってください。



生ごみ処理機購入費補助金

家庭から排出される生ごみの減量化・再資源化を図るために、生ごみ処理機購入者に対し、予算の範囲内で補助金を交付しています。

- 申請書を提出してください。（申請書、請求書はHPでダウンロードまたは市環境課窓口まで）

※申請時に必要なもの

- ・ 領収書（購入者の氏名、品名、金額が記入されているもの）
- ・ 請求書（市指定）
- ・ 印鑑
- ・ 補助額（購入額の2分の1、上限2万円）
- ・ 補助対象となるのは1世帯に5年間で1台までです。